

外部人材による面接体験

【中学校】

外部人材による面接体験

○大和中学校3年生：総合的な学習の時間



中学3年生を対象に、地元企業である「お多福醸造（株）」さんによる面接体験を実施しました。
広島県の公立高校の入試同様、生徒が自己表現をし、そののち面接官から質問をしていただきました。

中には、タブレットを用いたり、自分の作品を持参したりする生徒もいました。

外部人材による面接体験

○面接官によるフィードバック



お多福醸造 (株)

面接が終わったのち、その場で面接官から、良かった点や改善点を教えて頂きました。

外部人材による面接体験

○面接評価シート

項目	内容	評価	メモ欄 (特に何かあれば)
熱意	自分の魅力が伝わるように話すことができている。	B	話し方の 良さ
態度	きびきびした態度(入退室の様子、姿勢)である。	A	もったいない姿勢!
表現力	適切な言葉遣い、質問に正対した回答である。	A	

【評価】 A:十分にできている B:おおむねできている C:できていない

評価の観点	評価基準	評価	メモ欄 (特に何かあれば)
言語能力 (伝える)	自分の立場や考えが明確になるように、 根拠の適切さや 論理の展開などに注意して伝えている。	A	「何を伝えたいか よくわかる」
主体性	課題に対する自分の考えを持ち、 進んで行動している様子が伝わってくる。	B	「自分の意見、 何を話したか」
自己理解	自分の良さや個性を理解している。	B	「よく話して 良いと思います」

【評価】 A:十分にできている B:おおむねできている C:できていない

これは面接時の評価シートになります。
所作などのみではなく、本校で育成を目指す資質・能力について評価していただきました。

※広島県の評価規準と同様である。

- 言語能力(伝える) : ウ 表現する力
- 主体性 : イ 自分の人生を選択する力
- 自己理解 : ア 自己を認識する力

外部人材による面接体験

○生徒の振り返り

先生と練習するときも緊張したけど、実際に知らない方と話すともっと緊張した。

↳ 外部の方に面接をしていただく価値

自分の事を知らない人にどうやって自分のことをアピールできるかをもう少し考えたと思います。

↳ 相手意識の向上

・知らない人と話すのはきんちようするけど、どうどうとし、話す。
主体性と自己理解が少なかったから、自分と向き合い、自分自身がいかに
ばって来たことや、自分の良いところをもっと言う。

↳ 資質・能力についての振り返り

面接体験後の生徒の振り返りです。

外部の方に面接をしていただく価値について触れた生徒や、相手意識が向上した生徒、資質・能力について振り返った生徒がいました。